

《2026 年 8 月 限定サロン（通算 358 回）報告》

FIFA ワールドカップ 2026 を語ろう②

ーサロンファミリーの暑気払いー

【日 時】2025 年 8 月 25 日（火）18：30～22：00（その前に中締めあり）

18：30 集合・乾杯（随時） ※ここから飲み食い開始

19：00～20：00 限定サロン「FIFA ワールドカップ 2026 を語ろう②

ーサロンファミリーの暑気払い」

21：00 すぎに中締め（様子をみながら） ⇒ 残れる方は 22：00 までいられます

注）時程は計画段階のもの

【会 場】フットボール × ザンギ・バル「ブラ セリエ BRAS SERIE」

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-28-7 シャトレー松濤 B1

<http://brasserie-shoto.com/>

【参加費】6,000 円（飲み放題&料理 5 品）

【話題提供者】徳田仁（榊セリエ）、守屋俊秀（世田谷サッカー協会）、笹原勉（日揮台北支店長）

【参加者 12 名】

注）名前の前の記号は、◎NPO サロン 2002 会員、○会員外のサロンファミリー、無印はサロンファミリー外

<対面参加 10 名>

○奥山純一（フットリンク）、◎嶋崎雅規（国際武道大学）、○鈴木崇正（編集者・記者）、
○徳田仁（榊セリエ）、◎中塚義実（NPO サロン 2002 理事長）、○野田直広（富士電機）、
松本まさのり（元コスモ石油四日市 FC／小学校教諭）、◎守屋俊秀（世田谷サッカー協会）、
○守屋佐栄、○吉村将（中央大学 4 年）

<オンライン参加 2 名>

◎笹原勉（日揮台北支店長）、○長野いつき（音楽家）

【報告書作成】中塚義実

注 1）写真・スライドは、クレジットが入っているもの以外は発表者が提供

注 2）発表者は明朝体。発表者以外の発言はゴシック体で表記

<目 次>

■概要（通信より）	■参加者自己紹介（略）	■追悼 田村修一さん.....	2
I. FIFAワールドカップ2026大会を終えて（徳田仁）.....			2
II. メキシコ16泊一テキーラはうまい（守屋俊秀）.....			10
III. 2026ワールドカップ観戦ー北中米旅行（笹原勉）.....			16

【キーワード】FIFA ワールドカップ、W 杯、北中米大会、2026、メキシコ旅行、個人旅行、セリエ、徳田仁、守屋俊秀、笹原勉

■概要 (8/2 理事長より「通信」にて配信)

FIFA ワールドカップ 2026 が終わって 2 週間が経過しました。毎日が「時差ボケ」のひと月半でしたが、日常に戻ったと思ったら、猛烈な「日本の夏」がやってきました。

ということで、暑気払いを兼ねてサロンファミリーで集まり、ワールドカップを語りましょう！

場所はおなじみ、渋谷の「ブラセリエ」です。サッカー観戦ツアーを手掛ける(株)セリエの徳田さん、そのツアーを活用し、メキシコを中心に行っておられた守屋さんご夫妻、そして個人旅行で毎回ワールドカップを楽しんでおられる笹原さんの 3 名に話題提供していただき、今大会を振り返りながら盛り上がりしたいと思います。

■参加者自己紹介

(略)

■追悼 田村修一さん

7 月 29 日に膵臓がんのため亡くなられたフットボールアナリストの田村修一さんを悼み、参加者で黙祷、献杯をささげた。田村さんは 12 月 21 日の公開シンポジウム「賀川浩さんを語ろう」に登壇されるなど、サロン 2002 とは古くから深い付き合いのあるジャーナリストである。

I. FIFA ワールドカップ 2026 大会を終えて 徳田仁 (株)セリエ

1. レギュレーションの変更とツアー企画

48 チームになったワールドカップです。2 か月弱ぐらいあったんですけど、日本がラウンド 32 (R32) で負けたので、5 日半だけ日本に帰り、また行ったという状態でした。7 月 25 日に帰国した時はもうヘロヘロで、一週間ぐらい何もできませんでしたが、そのぐらい長くて疲れたワールドカップでした。



レギュレーションの変更とツアー企画

参加国32→48 これによりワイルドカードが発生
3位でもノックアウトステージに進める可能性あり→消化試合が減った
<ラウンド32>
○グループ1位で抜けるとワイルドカードと対戦
○グループ2位で抜けるとグループ2位と対戦
×C組とF組、H組とJ組は1位と2位がタスキ掛けで対戦→不公平
×C組とF組はラウンド32が同日開催→片方無駄になる
×ワイルドカードの試合は捨てるしかない→5会場には行けない

自分的には48日間のアメリカ&メキシコ生活 (ただし7/3〜7一時間帰国)

ツアーを企画する立場から言うと、今回 32 チームから 48 チームに変わり、フランス大会以来、32 チームの 1 位と 2 位だけが勝ち上がったレギュレーションから、そのほかに 12 個のワイルドカードが出るという、ツアー組みがめちゃくちゃ難しい大会となりました。日本の F 組はシャキール・オニールが抽選を引いたんですけど、おそらく最も悪い組に入りました。グループ 1 位で抜けると普通はワイルドカードと当たり、グループ 2 位だと 2 位同士が当たるとというのが基本なんですけど、C 組と F 組、H 組と J 組は、1 位と 2 位が当たります。C 組はブラジルとモロッコがいた組なので運が悪いのですが、もっと悪いのは、この組は R32 が同日開催なんです。今までは 1 位で抜けた場合と 2 位で抜けた場合は 1 日ずれていたんで、ツアーを作る側としては両方見られるように作ればよかったんですけど、今回はそれもできません。場所も異なります。F 組の日本が 1 位で抜けるとモンテレイ、2 位で抜

けるとヒューストン。しかも同じ 6 月 29 日。H 組と J 組は一日ずれていたのでもだいいのですが、F 組と C 組は最悪でした。どうなるかという、チケットとホテルを両方取り、移動手段も両方用意し、どちらかを捨てなきゃいけないというツアー組みです。値段が高くてリスクがでかい。シャッキール・オニールには恨みしかありません。3 位のワイルドカードで抜けた場合は、バンクーバーからニューヨークまで 5 会場の可能性があり、最後の試合が終わらないとわかりません。そこから R32 の試合まで中 2 日ぐらいしかない。無理です。お客さんには「ごめんなさい。1 位か 2 位で抜けた以外は作れません」と言ってツアー募集を始めました。すでにこの時点でかなり疲れました。

2. 旅行代金の比較：過去 5 大会と比べて

スライドは、グループステージ 3 試合観戦コースの一人あたりの料金です。これに燃油サーチャージなどがかかります。2 人で行った場合はこの倍かかります。

南アフリカが安かったのは、南アは危ないと言われていたので避けられたからのようです。けど南アとブラジルのどちらが危ないかというとブラジルでしょう。ちょっと外れたところへ行くとやばい人たちがいそうな感じがしました。南アはそういうのはなかったですね。



鈴木：参考まで、僕が初めてワールドカップを見た 1990 年のイタリア大会のときは、R16 の 4 試合を見るツアー代金が約 50 万円でした。4 試合観戦ですよ。いまのチケット代にもなりませんね。

中塚：僕は 1998 年のフランス大会に JFA のツアーで行きましたが、日本戦 2 試合付きで 50 万円弱でしたね。

3. 旅行代金が高くなった原因

なぜ高くなったかというと、観戦チケットがダイナミックプライシングになったことがあります。日本でもダイナミックプライシングをやっていますが、AI がいろんなアルゴリズムを読み込んで行きます。けど FIFA は今回、人間がやっていました。ただしリセールマーケットは変動するんです。FIFA は自分で決めた金額を出す。出してきて下がることは基本的にないんですけど、リセールマーケットは上がったたり下がったりします。

最初の頃ひどかったのは、リセールマーケットに出してとにかく売っちゃおうという人が安く出したら、FIFA が安いチケットを全部削って消されていく。「なんで値段が上がるの？」と思ってましたが。そういうからくりです。

FIFA は不動産と一緒に、売る側と買う側から 15% ずつ持っていく。カタール大会では定価以上で売っちゃいけなかったんですけど、今回はいくらでもいいよと。逆に、定価以下で売っちゃダメ。定価より安い金額で出していると FIFA が消す。そういうことでやっていました。

あとは勝ち進んだ国によって FIFA の出し方が違うんですけど、フランス、スペイン、あとはラテンの国が高い金を出します。イングランドやアイルランド、オランダやスウェーデンなどの人たちもどんどん買っちゃう。青天井で上がっていきます。

旅行代金が高くなった原因

- 観戦チケット＝高い＝ダイナミック・プライシングの影響
 - 基本、下がることは無かった
 - ※リセールマーケットは変動した（FIFAは双方から15%徴収）
 - ※勝ち進んだ国によって若干変動
- 航空券＝高い＝もともとダイナミック・プライシング
 - ダラスへの直行便50万円が最低レベル＝70万円以上
 - ※第2戦観戦時のダラス～モンテレイ往復は30万円
- ホテル＝カタルと比べると少し安い
 - カタル1泊\$800＝11万円程度（\$1＝140円）
 - ダラス1泊\$650（\$1＝165円）＝10万円
- 移動費＝高い
 - 都市間の距離が離れている、公共交通機関が無い、駐車場が高い
 - 都市間移動　ダラス～ヒューストンなど以外は航空機
 - 都市内移動　ニューヨークなど以外は専用車（バス）を利用するしかない
 - 専用車（バス）はスタジアムに留め置き・・・駐車料金は\$500～\$600

■チケット代（概算） cf 60ドルチケット

オランダvs日本：800ドル
日本vsチュニジア：400ドル
日本vsスウェーデン：650ドル
ラウンド32：ブラジルvs日本 900ドル
決勝 10,000ドル

今回スペインが勝ち上がった準々決勝のゴール裏のチケットを、FIFA は1 万 3 千ドル、200 万円ぐらいで 500 枚出しましたが、それは3 日ぐらいで売れました。

FIFA はワールドカップ出場国に対して1 試合 500 枚ずつ、60 ドルのチケットを出していました。9,000 円ぐらいです。それが、平均値ですがオランダ戦が 800 ドル。メキシコであったチュニジア戦は、メキシコはダイナミックプライシングを認めてない国なので 400 ドル。スウェーデン戦は後から決まったカードですけど 650 ドル。R32 のブラジル戦は 900 ドルぐらいで、決勝は 10,000 ドルが最低ライン。160 万円です。僕も決勝は見ましたが、さすがに経費で落とせないの自分で買いました。カテゴリー1 で約 200 万円です。僕の稼働分ぐらいです。カテゴリー1 は普通はタッチライン沿いのシートですけど、今回はそうはなっておらず、僕はゴール裏の方でした。

チケット代以外にも、航空券がとにかく高かったですね。航空券は元々ダイナミックプライシングですけど、ダラスの直行便を2月に募集開始した頃は往復で50万円でした。普通は20万円台なんです。直行便はスタートから50万。これに燃料サーチャージが加わります。最後の方で残り7席ぐらいのときは70万円です。もっと腹が立ったのは、ダラスからモンテレイに行ってダラスに戻ってくるチケットです。普通だと往復で7～8万円のところが30万円。1時間半しか乗らないのに30万円です。バス移動も考えましたが15時間ぐらいかかります。行きはいいですよ。アメリカから出る時は。けど全員ちゃんとアメリカに帰れるかという問題があってやめました。

ホテルに関してはカタルよりちょっと安かったです。



あとはレートが違います。カタールのときで 1 ドル 140 円でしたが、今回は 165 円です。

ダラスの星四つのホテルより、星三つのモンテレイのホテルの方が高かったですね。相場は関係なく設定しているからでしょう。

他にも都市間移動。飛行機じゃないと動けません。バスの駐車場も高いんです。500～600 ドル。10 万円近く払ってバス 1 台停めるという感じです。

こんなに高くなったのでお客さんが来てくれるか心配でしたが、オランダ戦では 350 人がセリエのツアーに来てくれました。56 人乗りのバス 7 台です。

4. ツアー参加者数：過去 5 大会との比較

大会全体を通してのツアー参加者はトータルで 560 人いました。右スライドのとおりです。

なんで多いのかと思ったら、やっぱりチケットが取れない人が多かったようです。

守屋(俊)：セリエさんに頼めばチケットは絶対取れますからね。

全部受けちゃっていいのかなというぐらい大変でした。



では過去の大会はというと、こちらもスライドのとおりです。ドイツが一番多かったです。2002 年の日韓大会の後で、底辺のファンがすごく増えた時だったので 1,300 人も参加してくれたのでしょうか。

中塚：ちなみにドイツのときに、「サロン in フランクフルト」をやりましたね。

ドイツからロシアまでは紙のチケットです。モバイルチケットの導入がカタールの時。今回は紙のチケットがほぼない状態でした。

ほぼというのは、紙のチケットの方が一人だけいたんです。出発前はあったんですけど、入場する時に画面から消えちゃった人。なぜかはわかりません。カタールの時はそういう人がいっぱいいましたが今回はその人だけでした。僕らがいなくて起きたので助けてあげられませんでした。自分でチケットのリセールセンターに行って、たらい回しにされながら、最後に紙のチケットを出してもらったそうです。

5. 渡航準備

準備にどれくらい頑張らないといけないかというと、まずアプリです。スライドの左に出ている FIFA のチケットアプリをダウンロードしてもらなきゃいけない。うちのお客さんは年齢層が高い人が多いので、そもそもダウンロードなんてしたことない人がいる。これが第一関門です。

ダウンロードしてくれたら、チケットをうちから転送します。チケットは紙ではないので。それを受け取ってもらわないといけません。受信すると通知が来て、それを確認して受け取りの処理をしないといけません。その確認作業が大変でした。先ほどの 350 人分を全部チェックしないといけません。「来てますよ」と言ってそのままにしている人が大勢います。きつかったですね。

チケットが消えちゃうトラブルの話をしましたけど、今回は少なかったです。カタールの時は出発する時点で全部チェックして確認したのに、スタジアム近くに行くと QR コードが出ない。しかも残っ

てない。FIFA に問い合わせてもわからない。前回大会はチケットが 800 ドルということはなかったの
で予備を 10 枚ずつぐら
い持っていたので、そ
ういう人は予備で対応
しましたが、今回は
予備を持てません。高
いから。

守屋(佐)：カタールで
はチケット画面を写真
に撮って印刷して持っ
ていったんです。それ
で通してくれました。
いい加減でした。

渡航準備



- ESTA（電子渡航認証）とVISA（査証）
 - ・メキシコは不要
 - ・カナダはeTAが必要
 - ・アメリカ入国・経由には一般的にはESTAを取得 40ドル
 - ⇒当社の顧客はワールドカップ予選などでイランへの渡航歴がある方が多い
 - ⇒ビザが必要⇒アメリカ大使館/領事館（東京か大阪）に行って面接
 - ⇒パスポートを新しくして戻国・・・ESTA虚偽申告？
- FWC2026アプリ
 - ⇒モバイルチケットアプリのダウンロード
 - ⇒当社から転送したチケットの受取（1つのアカウントに最大4枚）
 - ⇒チケットが消えるトラブルもカタールに比べると極端に少なかった⇒改善されていた
- 透明バッグ（クリアバッグ・ポリシー） 12インチ×6インチ×12インチ 以内
 - ⇒アメリカの他のスポーツ観戦に合わせている

今回はそういう技はダメでしたね。バッテリーが切れたらアウトですし、もうドキドキです。

前回のカタールのスタジアムで、ものすごく怒ってるメキシコのおばちゃんがいる、聞いてみたら、チケットがどこかへ行っちゃったのでリセールセンターに行った。3 か所ほどたらい回しにされて、最後に紙のチケットを発行してくれたのでそのチケットで入ろうとしたら、入口の係員にそのことが伝わってなくて「紙じゃ入れない」って言われたと。そこでぶち切れてました。僕もびっくりしました。

それと今回、メキシコはESTA はいらないし、カナダは別なんですけどカナダ経由の人はいなかったのよかったです、アメリカ経由だと普通はESTA を 40 ドルで取得して入国するんです。しかしイランやキューバ、北朝鮮などに行ったことがある人はESTA では入れない。ESTA で入れないので、ビザを取ら取らなきゃいけないです。

今回のツアーで最高齢の参加者は、サッカー和尚として有名な鈴木良韶さん（サッカー狂会の会長で御年 90 歳）なのですが、そもそもスマホは持っていないしクレジットカードも持ってない。そのため前回のカタールは観戦を諦めたのですが、今回はお孫さんが一緒に来てくれたので行けたんですけど、アメリカに入るにはビザを取りにアメリカ領事館に出向いて面接を受けなきゃいけない。さすがにそれは無理だろうということでメキシコに絞って、成田からエアロメヒコでアメリカ経由せずにメキシコに入るパターンで行ってもらうことにしたのです。

ビザを取るには東京か大阪に行って面接を受けないといけません。申請書の作成にすごい手間がかかるし時間もかかる。東京では予約して何ヶ月待ちというものもあるので大阪まで取りに行っている人もいました。

あとは透明バッグ。イングランドのプレミアリーグも一部そうなんですけど、アメリカのスポーツは全部このサイズの透明バッグじゃないと入れません。ただこれも笑い話があって、バックバックみたいに背負う紐が付いている透明バッグを持って入ろうとした人がいるんです。けどバックパックはダメとなっています。最初の頃、カナダ戦の時ですけど、チェックしている係員に「これはバックパックだからダメ」って言われた人がいました。でも預けるところはありません。どうしたかという
と、紐を切ってバッグにした。切るものなんか持ってないけど、係員がハサミ持ってきてバチッと切
って入れてくれた。でもその後の試合では、背負ってる人もいっぱいいました。メキシコは OK で
したね。最初の頃の人はそのいうことになっちゃう。なんでバックパックがダメなのは、「そこに書いてあるから」としか理由はないですね。

6. 物価

アメリカの物価はとにかく高く、夕食が 50～70 ドル普通にかかります。48 日行って帰ってくると、日本が天国のように感じます。

最初の頃は、いちいち円に換算していくらかかるか計算していましたが、途中からやめました。

お客さんには説明しましたが、レストランで決済する時にタブレットを見せられます。チップが表示され、安いことから 17%、20%、28%と表示され、その下に小さくスキップとかカスタムとかペイするというボタンがついてます。

日本人はそれを見ると真ん中を押してしまうんです。

22%です。30 ドルのご飯に 22%のチップを払っちゃう。スタジアムのビール買ったりするところでも出てくるんです。でも対面でチップは必要ないですよ。それをいくら言っても、お客さんは押してしまうということが何度ありました。スーパーでも出て

きます。何でスーパーマーケットでチップを払わなきゃいけないのかって思います。だからスキップを押してゼロにすればいいんですけど、日本人はできません。

それと、ここに写っているウルトラっていうのはビールのスポンサーですね。カップは、メキシコはアルミじゃなかったみたいですけどアメリカではアルミだったんです。このセットで 20 ドル。生ビール 1 杯 20 ドル。3,000 円払ってこれを買うかという話です。カップが付いてないドリンクは 10 ドルぐらいですけど、それでもまだ高いですね。

マッチデーカップは他の大会でもありました。ゴミを少なくするために持って帰ってもらうことだったんですけど、今回は完全に暴利になってます。



鈴木：カップ欲しいよね。いまこれでビール飲んでます。

奥山：欲しいですけど、この値段は躊躇するな、さすがに。

守屋(俊)：毎回買っていっぱい集めるんですけど、結局そのまま押入れに入ってる。セリエの本社倉庫に山のように積んでありますよね。

中塚：メキシコではスタジアムやファンフェスタで買くと 1 杯 300 ペソ、3,000 円でした。管理エリア内はとんでもなく高かったけど、街なかで買わずと安い。メキシコの物価は日本と同じぐらいでしたね。

7. 観戦環境とスタジアム

今回 16 個のスタジアムがあって、そのうち 4 つがドームスタジアム。日本はダラスとヒューストンが会場で、いずれもドーム型スタジアムでした。外は 40 度ぐらいでもものすごく暑かったですが、中は快適でした。

アメリカンフットボールのスタジアムなので人工芝でしたが、その上に天然芝を敷いて開催されていました。ほぼ完璧なピッチでした。ボールが跳ねることはなく、芝生が剥がれることもない。相当気を使ってピッチを作ったんじゃないかなと思います。去年僕はクラブワールドカップ（CWC）も行ったんですけど、シアトルのスタジアムは同じように人工芝の上の天然芝でしたが、消防士みたいな人がミストを撒いていて大変だなと思っていました。今回行ってみたらスプリンクラーがちゃんと埋められていて、金のかけ方が違うなと思いました。

日本が2試合やったダラスのスタジアムですが、アメリカではスポーツ観戦にはみな車で来ます。FIFA ワールドカップの時は、EURO もそうですが、2キロ圏内を封鎖して、駐車場はその外側に作り、中は人間が歩くだけというのが普通です。けどアメリカの場合は車社会なので、車と人間が混在しています。この地図はダラスのスタジアムですが、赤丸をつけた D というところが大型バスの駐車場です。AT&T というアメフトのダラス・カウボーイズのスタジアムで、オランダ戦とスウェーデン戦をやりました。スタジアムからは2キロ弱、25分ぐらい歩くんです。遠いでしょ。途中、テキサス・レンジャーズのスタジアム、グローブフィールドの前を通って行くんですけど、遠いです。



準々決勝や準決勝のダラスはツアー参加者が少なかったので、大型バスじゃない車で行けました。その時は13番に停められたので近かったんですけど、バスの駐車場はとにかく離れていて、ちゃんと考えてんのかよって思いました。車のことばかり考えて、人間のことが考えられていない。普通だと、車をシャットアウトしてるから、人間は広がって歩けていいんですけど、車も走っているので歩道を歩かないといけな。この辺がアメリカだなと思いました。

200万円払って観た決勝のニューヨークのスタジアム。これはニューヨーク・ジャイアンツとジェッツのスタジアムです。僕はファンなので何度も行ってますけど、屋根がありません。夏に行ったのははじめてですが、超暑い。午後3時キックオフで、まだ太陽は上の方にあります。カテゴリー1から3まで、全部の席が真上から直射日光を食らってるんです。集中して見てられない環境でした。

1994年の時はどうだったか調べてみたら、ローズボウルというロサンゼルス（ロサンゼルス）のスタジアムでした。こちらは屋根はおろか壁もないぐらいのすり鉢状のスタジアムです。見ただけで暑かったです

が、あの試合のキックオフは午後 1 時 30 分。日陰が全くない環境で、両チームとももうやめようっていう感じに近い状態。そういうアメリカ特有の観戦環境でした。

8. 新しい試みは必要？

ハイドレーションブレイクは CM タイムになっていましたが、3 分なので観ている人は買い物にも、トイレにも行けません。スタジアムにいる人は皆、ハイドレーションブレイクと言った途端にブーイングでした。

それからボール内センサー。触ったかどうかというところ。それとリアルタイム 3D アバター。オフサイドかどうか。手は OK だけど肩が引かかってましたよというあたり。これらの導入はいいと思うんですけど、決勝のハーフタイムショーはいるのでしょうか。「ハーフタイムショーは、前半終了のホイッスルが吹かれてから 5 分後に始まります」と、そこら中にポスターが貼ってあるんです。マドンナ、シャキーラ、ブルース・ボーイ、BTS、ジャスティン・ビーバーのパフォーマンス時間はトータルで 12 分。これに設営 7 分、撤去 8 分。撤去が始まる前にウォームアップしてたんです。ショーそのものは 12 分です。マイケルジャクソン 1 人だったらいいかもしれませんが、会場にいてもシャキーラとマドンナがどこにいたのかわからない。こんな状態です。ギャラはもらってるんでしょうか。スーパーボウルはギャラなしなんですけど。

それと、面白いのは MLB とのコラボで

す。オランダ戦を見た後にドジャースも見るコースを作ったんです。1 年前の CWC で浦和レッズの時に試しにやってみたら、意外に浦和の人が行ってくれたんです。それで今回もやってみました。ちょうどオランダ戦の直後にドジャースのホーム試合があり、



その参加者が 69 人。その時にコラボで「ドジャース FC」という架空のクラブをつくり、このサッカー・ジャージを配ったんです。ドジャースはバンクオブアメリカがスポンサーになっています。他の国じゃ見たことないですけど。ドジャース FC って架空のサッカーチームのジャージは、ちょっとほかとは異なるフィルターでやってみました。おもしろかったです。

9. なぜまたノックアウト 1 回戦で負けたのかー日本人が少なすぎる

最後です。またノックアウトの初戦で負けました。試合後にいろんなことが言われていますが、僕が思うのは「スタジアムに日本人が少なすぎる」ということです。

ヒューストンのスタンドを撮った写真です。ほぼ真っ黄色です。日本人はことこの上にちょっとしかいない。これじゃあ勝てねえだろと。

ブラジル人はここからが本番だと思ってこの試合のチケットを買ってるんでしょうけど、日本人は、うちのツアーでも 35 人しか行ってません。スタンドの半分ぐらいは青くなってもらわないと、勝てと言われても勝てないんじゃないのって。日本協会にはしっかり考えてほしいですね。現地に行け

るように。さっき言った 60 ドルのチケットを購入できるようにしてもらって、もっといっぱい集めない限り勝てないと思います。

戦術的にどうのっていうのもありますが、やっぱりこれを何とかしないとイケません。次のワールドカップは、ノックアウトの 1 回戦まで行くのは当然ですから、その上をねらっていきましょうということを最後に言わせてもらって終わりです。

中塚：会場で対面参加している人はプレゼン中にもいろいろ茶々を入れられましたが、オンラインの笹原さん、長野さん、感想などいかがですか？



笹原：何か言おうとしたけど言われてしまい、聞きたいことがあったけど忘れちゃいました。またあとで。

長野：最後のブラジル戦の時って、観客席があんなふうになっていたんだってびっくりしました。

中塚：ブラジルに日本が負けたのは、試合の中身はもちろんあるけど、その前にやっぱりサポーターの心構えから含め変えていかなあかんということですね。ブラジル人は、1 位通過は当たり前。そういう準備をしているわけですね。日本人は、まだ半信半疑。ここの違いですね。

Ⅱ. メキシコ 16 泊ーテキーラはうまい 守屋俊秀（世田谷サッカー協会）

1. アエロメヒコ

徳田さんの話とはガラッと変わりまして、メキシコに 16 泊、私たちが行ってきた話です。私たちというのは、私と佐栄さんです。

アエロメヒコの直行便で行きました。アエロメヒコのマークです。アステカの鷲の戦士。この頭がこうなっ

ています。行く前に、アエロメヒコの機内食は良くないという話を随分聞いたんですけど、平均点以上。日本語の通訳だというお嬢さんが二人いました。CA ではありません。CA 資格はないんだけど、日本語とスペイン語ができる子を乗せていました。



テキーラおいしかったです。日本円で 1,500 円、2,000 円を超す素晴らしいテキーラです。さやさんは寝てましたけど、ギャレーまで行けばほぼ飲み放題。もう 1 杯くれって言ったらくれました。もう一回くれって言ったらまたくれて、その時はつまみも持ってけて言われました。

ただ、他のエアはどうわかりませんが、アエロメヒコでは国内線での預け入れ荷物が有料で結構高く、一行程 15,000 円ぐらい取られました。だから全部で 20 万円ぐらい取られたんじゃないかな。

2. メキシコ 16 泊の概要

メキシコ 16 泊はこんな感じでした。メキシコシティに 4 泊、モンテレイに移動して 3 泊、オアハカに移動して 3 泊、メリダ 3 泊、モンテレイ 3 泊です。試合観戦は、ウズベキスタン vs コロンビア、日本 vs チュニジア、ファンフェスタで日本 vs ブラジル。勝たないかなと思ったけど無理でしたね。

日本が 1 位で抜けていけばモンテレイに戻ってきて、モロッコかどこかだったんですが、オランダが 1 位になったのでオランダ vs モロッコ。延長になりましたけど延長見ずに帰っちゃいました。別にサッカーはどうでもいいやっていう感じです。

なぜか。行きたかったのはオプションツアーの方です。テンプロマヨール。スペイン語で大聖堂という意味です。大聖堂だからキリスト教の教会かと思ったら大間違いで、元々あったアステカの古い寺院が発掘さ

れたのがテンプロマヨールです。それからテオティワカン。太陽のピラミッドと月のピラミッドを熱気球で上から見ました。チャプルテペックはメキシコ市内のスペインが作ったつまんないお城です。モンテレイに移動してチュニジア戦をみて、オプションでグラシア洞窟。鍾乳洞から水を抜いた感じ。徳田さんも行ったんですよ。

徳田：お客さんもほぼ皆さんそこは行ってます。

	宿泊	オプション	試合	スタジアム
15	メキシコシティ			
16	メキシコシティ	テンプロマヨール		
17	メキシコシティ	テオティワカン 熱気球	ウズvsコロンビア	アステカ
18	メキシコシティ	チャプルテペック		
19	モンテレイ			
20	モンテレイ		日本vsチュニジア	BBVA
21	モンテレイ	グラシア洞窟		
22	オアハカ			
23	オアハカ			
24	オアハカ	モンテアルバン		
25	メリダ			
26	メリダ	チチェンイツツア		
27	メリダ	ウシュマル・カパー		
28	モンテレイ		(日本vsブラジル)	
29	モンテレイ		オランダvsモロッコ	BBVA
30	モンテレイ			
1	25:35フライト			
2				



そしてオアハカに行って、モンテアルバンっていう山の遺跡。そこからメリダに行き、チチェンイツァ、ウシュマルとカバーの遺跡。

こっちがメインだったんです。「サッカーもやってるから行こうか」っていうのが、我々のこの10年ぐらいの行動パターンですね。

地図で見るとこのような感じです。日本から直行便でメキシコシティに入り、メキシコシティからモンテレイへ。モンテレイからオアハカへの直行便がありますが、アエロメヒコの方が安いということでセリエさんが取ってくれて、メキシコシティ経由で行きました。どこへ行くにも一回メキシコシティ経由のフライト。全部こうだから有料の預け入れ荷物代がかなりかかったわけです。徳田さんが言ってましたけど、一人250万円ぐらいかかるので、ここに来て5万、10万はどうでもいいよって話で、節約は諦めたという感じです。それに加えて、現地でほとんど現金を使ってません。カードです。だからいくらかかったかはさっぱりわかりませんでした。

帰りはモンテレイから羽田に向かいますが、行きと航路が違ってました。帰りはカリフォルニアの横を通ってずっと北上しましたね。

3. 旅の動機—メキシコのマリンチェ

1980年発行の本です。

まだ持っています。1955年生まれの私が25歳の時に買った本です。ピカピカの大学6年生でした。メキシコのマリンチェって何かというと、実在した人物です。会ったことはありません。首長の娘さんだったんだけど、首長がしょうもないやつで、タバスコに奴隷として売られました。辛いタバスコはこの地名から来ています。タバスコに売られたのでマヤ語とナワトル語に通じた人です。あとで出てきますが、言葉が違うんです。

コルテスが上陸した時に、タバスコの首長からコルテスに献上されます。こういう文化があったのです。献上された本人はほぼ何とも思っていない。そういう世界でしたし、「私は行きたいわ」っていうお嬢さんもいたらしいです。コルテスに献上されたのでスペイン語を覚えます。よって、コルテスがメキシコを占領した時の通訳です。そういう小説が1980年に発行されています。小説なんで



嘘八百でしょうけど、結構面白かった。1980 年から 46 年間、私はこの本をずっと持っています。

コルテスはキューバ経由でベラクルスに上陸しました。その頃ベラクルスって街はもちろんありません。後からスペイン人が作り、ベラクルスという名前を付けました。グッドクルス。よい十字架という意味です。メキシコシティの東、直線で 400km。東京から盛岡ぐらいです。ただしメキシコシティは標高 2,200m あります。メキシコシティは標高が高いので頭痛や吐き気がするんじゃないかと、お医者さんから薬をもらって持ってきましたけど、幸いにもセーフでした。

これがコルテスの通った道です。直線で 400km どころの話じゃない。結果としてメキシコを占領します。

この本がすごく面白かったので、メキシコに行ってみたい、マリンチェってどんどこで暮らしていたのだろうというのを、26 歳のころから 72 歳のいままで、40 年以上も心に持っていました。今回メキシコでワールドカップもやっているということで、行ってみたわけです。

4. コルテスとケツアルコアトル伝説

コルテスは、ケツアルコアトルの再来かと思われたんです。ケツアルコアトルとは、羽のある蛇。実際にいる鳥です。世界で一番美しい鳥、ケツアルです。コアトルはつきません。それを神格化したのがこれ。誰かという、生贄の制度に反対して追放された部族長がケツアルコアトルになった。死後天神様に祀り上げられた菅原道真のような存在です。再来があるんじゃないか。再来する時は東から来る白い顔の男となっているという伝説がありました。



コルテスは東から来ました。スペイン人だから白い顔をしています。しかもたまたま、コルテスが上陸した年は、アステカの、というかマヤ暦で「一の葦の年」でした。だからコルテスはケツアルコアトルじゃないのかということを信じた人が相当数いたらしいです。

5. 古代メキシコのフットボールと言語

話は変わります。これがアステカで行われたフットボールのピッチです。いまは芝生ですけど、当時芝だったかどうかはわかりません。記録が残っていないから。

青色の矢印のところがゴールです。小さい穴が開いています。ここで、こんな格好をしたお兄ちゃんたちが戦います。2系統あるんですが、腰を使



う系統と頭を使う系統です。手は使いません。あの小さなゴールにボールを入れる。ボールは生ゴムでできていて、直径約 30cm、重さは 3 キロ。イメージとしてはバスケットボールです。だから滅多にゴールに入らないと思われます。

何のためにやったのか。神様に捧げるためです。勝ったチームのキャプテンが生贄にされます。なぜかという、一番強いやつだから。だからそれを神に捧げる。そういう文化だったらしいです。

生贄の心臓を捧げるということが遺物に残っています。心臓を取り出して台の上に乗せる。残った体はばらまく。ばらまいた体は、下々がみんな食うということだったらしいです。

これがマヤの文字です。わかるわけなし、書けるわけなし。読める人はごく少ない。ということは、当然識字率は低い。識字率が低い上に、先ほどナワトル語とマヤ語というのが出てきましたが、先住民族には 67 もの言語があったらしいです。この言語がわかるのが、書記と呼ばれる人です。書記はこれ



らを全部書ける。だから書記長が一番偉い。字が書けることがどんなにすごかったか。

これに比べると日本は識字率がやたら高い。知識レベルも高かった。江戸末期、ペリーとかいろいろ来ましたが、ほとんどの人がペリーがどこから来た何者なのかということを大体知っていました。しかしコルテスが来たとき、メキシコでは誰も知らない。昔の神様が来たんじゃないかと、本当に信じた。だから、易々ではありませんが、メキシコはコルテスに占領されてしまいます。

それから、これはさっきのワシの戦士です。こちらはフットボールのプレーヤー。いずれも神様です。どう見たって過剰装飾です。過剰装飾できるということは、彼らは暇だったんです。時間はたっぷりあったんです。なぜか。トウモロコシが取れたからです。

メキシコに限らず、世界中で農業が進んでくるところは、農業にかかる時間よりも余暇を使う時間の方がはるかに多かったです。だから文化が育ったというか、神様を信じちゃった。特にこの場合は、こういう神様がいた、いるんだよという神官のことを信じちゃった。それがメキシコの悲劇だと思います。

暇だったんです。



6. 「花の戦争」とスペインの支配

「花の戦争」というのは、先ほどのマリンチェに書いてあったものです。ネットで調べていただければ出てきます。67 もの言語があったということは、部族が最低 67 もあったということです。部族同士で喧嘩します。けどその喧嘩は、真剣にはやらない。「花の戦争」っていうのは、決まった人数で戦い、何人か死んで何人か捕まえる。捕まえられたらそいつは生贄です。たくさん取った方が勝ち。だからこれで終わりという「花の戦争」をやっていたらしいです。

ところがコルテス、スペイン人たちののはマジな戦争でした。みんな殺しちゃう。だからびっくりしたらしいです。本当に殺されると。

これはモンテアルバンという山の遺跡の一部です。里山なんです。メキシコって里山がすごいん



です。このモンテアルバンに案内してくれたガイドに、ここのキングはどれぐらいの領域を持っていたのか聞いてみたら、「見える範囲の里山だけ」。大雑把に言うと、山梨の甲府盆地。武田信玄の海外版ですね。

モンテアルバンのお墓に入っていた翡翠の棺と金の棺です。翡翠の棺と金の棺は部族が違うそうです。金の棺を納めた人たちが後から来て、半分下さいと拝借した。部族同士の争いが非常に激しかった。こういう小さな世界を争い合っていました。

一番強かったのはアステカ帝国です。どこにあったかという、いまのメキシコシティです。昔はテノチティトランと言いましたが、湖の中に浮いている街です。その湖がどうなったかという、みんな埋め立てられています。周りには最低 67 の部族があって、コルテスは互いの争いをけしかけます。仲間争いを利用してアステカを滅ぼしちゃったというのがコルテスの実態だったらしいです。

最初にベラクルスに上陸した時は兵隊さんが 600 人で馬 16 頭。それだけです。メキシコには馬がいなかったの、初めて見た人はびっくりしたそうです。さらに言っちゃうと、さっきこれを里山と言いましたが、メキシコっていうと乾ききってサボテンが生えてるだけという印象かもしれません。でも違います。亜熱帯の大森林です。その中をどうやって進軍するのか。600 人の軍隊がドドドどと行けるわけがない。それはちょっとずつ仲間うちを集めてやった。おそらくメキシコの下半分、南アメリカ大陸で全部同じことが為された。違うのはブラジルだけです。ブラジルはたまたまポルトガル領だけ、同じようにスペインが侵略して取っちゃった。

だから僕が最初にメキシコに興味を持ったのは、さっきの本のこともありますが、なんでこいつらみんなスペイン語を話すんだ。メキシコはどこに行ったんだ。メキシコはないのかということです。

最初からないんです。そしてスペイン語が共通語になった。ちょうどいいじゃん、スペイン語をみんなて話すんだったら。こういうことを改めて再認識しました。

今回メキシコでワールドカップやってくれて本当に楽しかったです。ユカタン半島に行くために、よくワールドカップをメキシコでやってくれたなっていう感想です。

守屋(佐)：オアハカは芸術の街で素晴らしかったです。布とか民芸品とか、67 部族のお母さんたちの手作り作品が残ってるし、それを受け継いだ若い人が発展させて芸術にしたようなお店がずらっと並んでいます。

守屋(俊)：犬のチワワはここ。日本人に有名なカンクンはここユカタン半島のこのあたりです。

守屋(佐)：カンクンはメキシコじゃありませんからね。

中塚：ありがとうございます。次の笹原さんもユカタン半島に行っておられるので続きの話が出てくるかもしれません。

Ⅲ. 2026 ワールドカップ観戦 北中米旅行 笹原勉（日揮台北支店長）

右上にあるのが、スタジアムでコーラとか買う時にくれるカップですね。

今まで 4 回ここで発表してきました。私はいつも個人旅行で、全部自分で手配しています。どういう手配をしたのかというような情報を中心にお話します。

まずは今までのワールドカップ観戦、それから今回の観戦スケジュール、そしてチケット問題について。そのあといろいろ写真をお見せしますが、最後にいくらだったのかというような話をします。



1. これまでのワールドカップ観戦

フランス大会だけは阪急旅行社に頼んでツアーで行きました。けどご存知の通り旅行会社がチケットを手に入れられず、現地で何とかチケットを確保して観戦しました。その後は全部自分でチケットを抽選で申し込んで買っています。

赤枠は私が観た日本戦です。組み合わせ抽選前にチケットを申し込むので、これまであまり日本戦は見えてませんが、譲り受けたりして何試合か見ました。私が観た試合は全部負けています。やっと前回スペインに勝って、私の呪いが解けたかなというところです。

1. 過去のワールドカップ観戦	3
1998フランス大会(7日間?) 2試合観戦 チケット抽選 日本 vs クロアチア(日本 vs シンガポール)	
2002日韓大会(9日間?) 4試合観戦 大分VST (BEL-TUN, MEX-ITA, SEN-SWE), 接待チケット(GER-KSA)	
2006ドイツ大会(17日間) 3試合観戦 7試合応募→2試合当選 ESP-KSA, SUI-UKR + 譲り受けた日本vsブラジル	
2010南アフリカ大会(17日間) 4試合観戦 7試合応募→6試合当選→2試合売却 NED-SVK, KOR-URU, ESP-POR, ARG-GER	
2014ブラジル大会(12日間) 2試合観戦 9試合応募→3試合当選→2試合RESALE (MEX-CRO, SUI-HON) GER-GHA + 譲り受けた日本vsコロンビア	
2018ロシア大会(16日間) 5試合観戦 7試合応募→全試合当選→2試合RESALE(GER-KOR, FRA-URU) FRA-ARG(16), ESP-RUS(16), COL-ENG(16), FRA-BEL(4), ENG-CRO(4)	
2022カタール大会(16日間) 3試合観戦 第一次抽選: 5試合応募→全試合落選。第二次抽選: 9試合応募→3試合当選 日本vsコスタリカ URU-POR, 日本vsスペイン	

これまでの経験から、抽選が当たりやすい大会と当たりにくい大会があります。南ア大会とロシア大会はバカ当たりでした。応募したらみんな当たるような感じです。物理的に見られないから、泣く泣く売却したチケットもいくつかありました。一方、カタール大会は最初の抽選はみんな外れちゃったんだけど、次の抽選で当たりました。今まで全部外れたことはないですね。

2. 観戦スケジュール

通常 1 年ぐらい前から準備が始まります。今回はチケットの申し込みができるようになったのは前年 9 月で、かなり遅かったですね。また、チケットの抽選をするための抽選が二ステージありました。その抽選に 2 回とも落ちたあとに大会の組み合わせ抽選があったので、私を含めた一般の人たちがチケット抽選できたのは、対戦カードが決まってからということです。

今年の 2 月になって、やっとチケットが当たったという連絡が来ました。

それから往復の航空券の手配を 2 か月後ぐらいに行い、ホテルを決め、メキシコ、アメリカの国内航空券を決め、買い、ホテルを自分で予約し、6 月 12 日に開幕。23 日に出発して 7 月 5 日に帰国したのが今回のスケジュールです。

今回のチケットは、カミさんと私の分を、時期を分けて別々に、計 14 試合申し込みました。カミさんの分はグループステージがメインで R32 もいくつか、私の分は R32 と R16 の計 6 試合申し込みました。結果として、カミさんは全部外れて私の 1 試合だけ。D2 vs G2 だけです。オーストラリア対エジプトの試合になりましたが、ひょっとしたらアメリカ対イランという対戦になったかもしれないところでした。

ダラスの試合が当たったので、もう 1 試合ダラスで見ようということになり、日本の試合、まだこの時はヨーロッパのプレーオフのチームでしたが、6 月 25 日の試合をリセールサイトで買いました。2 試合分のチケットを手に入れて、旅行の計画を始めたということです。

2. 観戦スケジュール：事前準備

2025 09/11	観戦チケット (VISA 先行抽選権) 申し込み → 落選
10/28	観戦チケット (先行抽選権) 申し込み → 落選
12/06	大会組み合わせ抽選
12/13	観戦チケット (一般抽選) 申し込み
2026 02/08	観戦チケット (一般抽選) 当選通知/リセールチケット購入
04/06	往復航空券 (台北⇄ダラス) 購入
05/01	ホテル (米国) 予約
05/04-05/10	域内航空券購入
05/30-06/06	ホテル (メキシコ観光) 予約
06/12	ワールドカップ開幕
06/23	台北出発
07/05	台北帰着

2. 観戦スケジュール：チケット抽選の応募と結果

家内名義 (6/21~7/1)		
8試合応募 → 全て落選		
GS	NZ vs エジプト@バンクーバー 欧州PO vs メキシコ@メキシコシティ ウルグアイ vs スペイン@グアダハラ	コロンビア vs 大陸間PO@グアダハラ 日本vs欧州PO@ダラス 6/25 Resale Siteで購入
Round 32	A2 vs B2 @ロサンゼルス D1 vs 3位 @サンフランシスコ	A1 vs 3位@メキシコシティ
本人名義 (6/28~7/4)		
6試合応募 → 1試合当選		
Round 32	A2 vs B2@ロサンゼルス D1 vs 3位@サンフランシスコ D2 vs G2@ダラス 7/3(オーストラリア vs エジプト)	A1 vs 3位@メキシコシティ H1 vs J2@LA
Round 16	A2/G2 vs F1/C2 @ヒューストン	

これが実際に手に入れたチケットです。右側のオーストラリア vs エジプトが抽選で当たった方で、原価です。R32 なので少し高めで、しかもカテゴリー1ということで、原価は日本 vs スウェーデンと比べるとだいぶ高かったです。一方、リセールサイトで買った方は、まず購入価格自体、すでにオーストラリア vs エジプト戦より高く、さらに手数料 15%を取られるので、支払い金額はかなり高くなりました。

2. 観戦スケジュール：購入チケット

	日本 vs スウェーデン	オーストラリア vs エジプト
日時	6月25日(木) 18:00	7月3日(金) 13:00
会場	ダラス	ダラス
購入方法	Resale Site購入	抽選購入
ステージ	グループステージ	ラウンド32
カテゴリー	カテゴリー2	カテゴリー1
公示価格(税込)	\$400	\$540
購入価格(税込)	\$589/\$586.8	\$540 x 2
手数料	\$176.37	なし
支払金額	\$1,352.17	\$1,080



旅行日程ですが、台北から羽田経由でサンフランシスコに行きました。昔アメリカにちょこちょこ出張に行っていた時に、アメリカの空港の乗り継ぎにものすごく時間がかかった印象があり、乗り継ぎを避けたかったんです。サンフランシスコにたまたま、昔北京にいた時のアメリカ人の友人が住んでいたんで、もう一泊しちゃえということで、サンフランシスコで降りてその人と飯を食い、翌日ダラスに、サンディエゴ経由で行きました。

別の友人と昼飯を食った後の午後、日本 vs スウェーデン戦を観戦。翌日は、さっき佐栄さんから「メキシコじゃない」と言われたカンクンに飛び、カンクンのビーチとか、守屋さんの説明であったチチェン・イツァの遺跡とかセノーテを見ました。実はカミさんが小学生の時からマヤ文明が大好きで、ずっと行きたかったということで、今回のメキシコは、僕はメキシコシティとかアステカスタジアムに行きたかったんですけど、メキシコではカミさんの趣味に合わせてチチェン・イツァとパレンケの遺跡に行ってきました。

特にパレンケの遺跡に行きたかったらしくて。けどここは、行くのが結構大変なんです。カンクンから一旦メキシコシティに行った後、ビヤエルモサってところに行き、そこから車で2~3時間でパレンケに着きます。1日そこを見た後にもう一回メキシコシティに戻りましたが、メキシコシティには半日もいらなかった感じでした。翌日ダラスに行って試合を見た後、フォートワースという、カウボーイが出てくるような雰囲気が残ってる街に行きました。翌日は日本、じゃなくて台北に戻りました。

スライドで、試合を見たのは赤、観光は青、それ以外は移動です。13 日間の旅でしたが、1 日移動で潰した日が多くてもったいないなという感じがしました。

ホテルですが、ダラスでは2 試合見たので全部で4 泊しています。いずれも空港近くのホリデイ・インに泊まりました。なんでそこにしたかということ、シャトルバス乗り場に近かったからです。近いと言っても Google マップで 17 分。家が建てるように見えるし確かに建っているんですが、夜歩くと真っ暗で、誰一人通ってないです。結構おっかないところでした。

緑色のところがダラスとフォートワースをつなぐ鉄道です。その真ん中にある駅からシャトルバスが出ています、日本でいう普通の鉄道かなと思っていたんですが、フォートワースから夜に帰る時はおっかなかたですね。乗っている人はとても少ないし、ちょっと気が触れたような人だけでした。そこで降りて人っ子一人いないような道を 17 分歩いてホテルに帰るのが一番怖かった経験ですね。このホテルはこの辺では比較的安かったのも、ここを選んだ理由です。

2. 観戦スケジュール：ダラスのホテル



Holiday Inn

DFW Airport South

シャトルバス乗り場に近い (でも徒歩17分)

比較的安い (でも5.8万円/泊)



中塚：笹原さんが怖いっていうぐらいやから、ほんまに怖いんやろなって、いま野田さんが言ってます。ちなみにダラスって、ケネディが狙撃された街ですよ。

そうです、この電車の一番先の方です。

空港でUberでタクシーを呼んで乗ろうとしたら、そのタクシーのドアが大きくへこんでるんです。一体どうしたのかと聞くと、ダラスで昼間、普通の道路で信号で止まったときに別の車がぶつかってきて、なんだなんだと降りてみたら、ぶつかってきた車から大勢の人が降りてきて強盗にあったということでした。ダラスに着いていきなりそれを聞き、結構嫌なところだなと思いました。

怖いと言っても、誰も人が通っていないので不気味だというだけです。ホテルはそれなりのホテルです。

3. チケット問題

今回のチケットの手配は、今までと大きく違ったことがあります。

一つは、抽選するための抽選というのが2度もあったということです。私は当たらなかつたし、周りの人で当たった人はいませんでした。

それと、一般抽選をしようと思った時は、もうすでに大会の組み合わせが決まっているので面白くない。また、今までの大会はグループステージならグループステージ、ノックアウトステージの1回戦、2回戦はそれぞれみんな値段が一緒だったのですが、今回同じステージでも値段が違うんです。さっきも話がありましたが、とにかく高い。そしてリセールサイトは価格が変動するので、これは公式のダフ屋だなという感じがですね。

3. チケット問題・・・FWC2026の特徴

- ・ 一般抽選の前に、申し込み権利の抽選(2ラウンド)
- ・ 一般抽選申し込みが大会組み合わせ決定後
- ・ 同じステージでも試合によって価格が違う
- ・ とにかく高い
- ・ リセールサイトで価格が変動 (公式ダフ屋)
- ・ カテゴリー分けが、観戦角度でなく、ピッチからの近さ

カテゴリー分けの話は徳田さんからもありましたけど、今までの大会は、ピッチを横から見るセンターラインの延長線あたりがカテゴリー1で、ゴール裏がカテゴリー3、その間がカテゴリー2というのが一般的でしたけど、今回はほとんどのスタジアムで、ピッチに一番近いところ、ぐるっとスタジアムを囲む形でカテゴリー1、その上が2、その上が3みたいな、今までと違う分け方でした。

3. チケット問題:一般抽選公示価格 (2025.12.11 AP調べ)

10

	カテゴリー 1			カテゴリー 2			カテゴリー 3		
	最安	最高	平均	最安	最高	平均	最安	最高	平均
開幕戦	\$2,170 ~	\$2,735	\$2,420	\$1,575 ~	\$1,940	\$1,740	\$930 ~	\$1,120	\$1,023
グループ・ステージ	\$450 ~	\$910	\$563	\$380 ~	\$750	\$433	\$140 ~	\$340	\$201
R-32	\$460 ~	\$790	\$611	\$350 ~	\$610	\$490	\$190 ~	\$305	\$237
R-16	\$620 ~	\$980	\$770	\$505 ~	\$785	\$603	\$220 ~	\$365	\$294
準々決勝	\$1,265 ~	\$1,775	\$1,439	\$890 ~	\$1,220	\$1,014	\$535 ~	\$800	\$680
準決勝	\$3,040 ~	\$3,295	\$3,168	\$2,350 ~	\$2,525	\$2,438	\$905 ~	\$930	\$918
3 位決定戦			\$1,125			\$865			\$455
決勝戦			\$8,680			\$5,575			\$4,185

GS最安: ヨルダン vs アルジェリア
キュラソー vs コートジボアール
カーボベルデ vs サウジアラビア
日本 vs チュニジア
豪州 vs ヨーロッパC (トルコ)
等

GS最高: ヨーロッパC (トルコ) vs USA
GS次点: 開催国、ブラジル、アルゼンチン全試合
(\$700) イングランド vs クロアチア
ノルウェー vs フランス
ウルグアイ vs スペイン
等

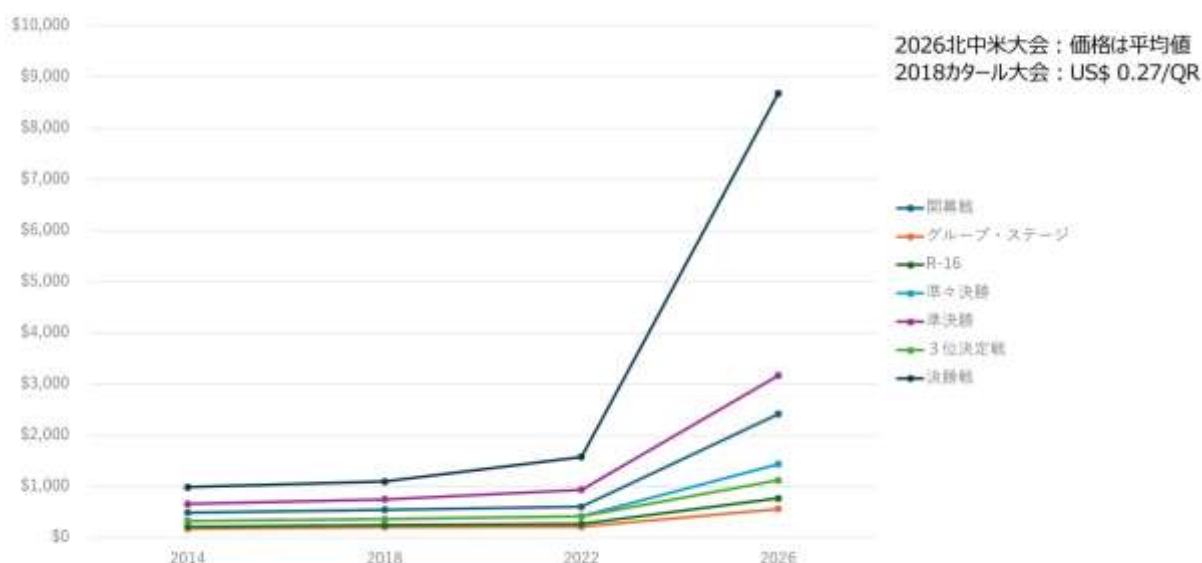
一般抽選の時の購入価格を表にしました。今言ったように、例えばカテゴリー1であっても、グループステージで一番安いのが 450 ドルで高いのが 900 ドルと分かれています。徳田さんから、これは人が決めたということを知りましたが、じゃあ一番安いのはどんなチケットかというと、ヨルダン対アルジェリア、あとはキュラソー対コートジボワールといった、確かに人気のなさそうな対戦の他に、日本 vs チュニジアも含まれていました。場所の関係があったかもしれません。

高いチケットは、なぜかヨーロッパのプレーオフ C。結局トルコになりましたけど、これとアメリカの試合が一つだけ 900 ドル。開催国の全試合とブラジルやアルゼンチンの試合、ほかは強豪国同士の試合が 700 ドルに設定されてました。そういうのは何となくわかるんですが、準決勝になるとどのチームが出てくるのかわからないのに、2 試合の値段が違います。よくわからない状況でした。決勝戦の 8,680 ドルは、抽選で当たった場合のチケット価格です。

これを今までの大会と比べてみると、その異常さがわかると思います。今まではだいたいカテゴリー1を買ってたんですけど 200 ドル程度でしたが、今回は平均すると 563 ドル。今までから 2、3 倍になってるんです。決勝戦は何倍でしょうか。図にするとこんな感じです。過去 3 大会は横並びだったのが急にバンと上がりました。徳田さんの話じゃないですけど、これだけ上げてみんな売り切れて人が見に来るということは、この値段が今後下がることはないんじゃないかという懸念を持っています。

3. チケット問題:一般抽選価格の変遷 (カテゴリー 1)

12



次に座席の位置についてです。最終的な座席表です。

スウェーデン戦はリセールサイトで買ったチケットです。赤がカテゴリー2です。我々の後ろにはあと5人ぐらいしか座ってないような、一番後ろの方の席でした。場所は悪くありません。今までの大会だったら多分カテゴリー1になるような席でした。目の前にものすごくでかいスクリーンがあるのが特徴でしたね。

次が、抽選で当たったオーストラリア vs エジプト戦です。カテゴリー1でこの辺です。座席から見た風景は、先ほどとだいぶ違いますが、それでもかなり見やすかったですね。ここはコンコースから入るんじゃなく

3. チケット問題：座席位置 (日本 vs スウェーデン)

13

- 6/25 18:00~
- Block: 446
- Row: 23
- Seat: 17

DALLAS STADIUM

- Category 1
- Category 2
- Category 3
- Category 4
- Accessible Seating Area



3. チケット問題：座席位置 (オーストラリア vs エジプト)

14

- 7/3 13:00~
- Block: C337
- Row: 16
- Seat: 11

DALLAS STADIUM

- Category 1
- Category 2
- Category 3
- Category 4
- Accessible Seating Area



て、個室が並んでいるような廊下を通って、そこから普通の座席入口があったんです。個室が並んでるとこなのでトイレも空いてるし、そこで売ってる飲み物とかの売店も非常に空いてて綺麗な感じで良かったですね。

この席なんですけど、座席は最後尾で、後ろには壁があるだけです。前の人が動いたりして見えない時でも、僕が立ち上がっても後ろの人に迷惑がかからないという意味で良かったですね。



驚いたんですけど、左側が応募する時に提供されていたシートマップです。青で囲った枠の白から白までの間が、抽選の時はカテゴリー2として売られていました。ところが実際に抽選に当たって、あなたの席はここですよとなった時に見たシートマップは違います（右側）。元々カテゴリー2だったところをカテゴリー1として売ってるんです。詐欺だ、ひどいなと思いました。私的には場所としてかなりいいし、ここでもいいかと思ったんですけど、ネットを見ると、当然ながら同じ目にあった人が随分いて、本当に憤慨してる声がいっぱい上がってました。ひどいよなと思います。この席をカテゴリー2で売るよりもカテゴリー1で売の方が儲かるのは間違いないですから。というような目に遭いました。ただ、あの席は本当に良かったです。

<写真で見るワールドカップ旅行>

ではここからは写真でワールドカップ旅行を見ていきたいと思います。

私が到着したのはサンフランシスコの空港です。こんなに明るい夕方の時間でしたけど、ワールドカップらしさはまるでありません。一つだけ WELCOME って書いてあるブースがありましたけど、そこには誰もいない。あんまりウェルカムされてないような感じがする空港でした。

それからワールドカップではバドワイザーがスポンサーになっているので、過去の大会ではバドワイザーのちょっと薄いビールしかなかったんですが、なぜかダラスのスタジアムではいろんなビールを売っていました。クラフトビールみたいなものもあるし、メキシコのソルとかも売っています。ビールの種類は非常に良かったという印象です。ひょっとしたらこれみんなバドワイザー系列なのかなと思ったりもしました。

中塚：逆にメキシコではバドワイザー見なかったですね。

笹原：本当ですか？

中塚：はい。ビールは美味しかったですね。つまみも食べ物も、メキシコのものはみんなよかった。



守屋：そうそう。だから美味しくいただきました。

次は日本対スウェーデン戦です。試合の 3 時間ちょっと前ぐらいに着いたんですけど、シャトルバス降り場からスタジアムに行くまでの道は日本人しかいないように見えました。日本人がすごく多かったですね。この

試合には、たまたま大学時代の同級生が徳田さんのツアーで来ていたのですが、この時点ではまだ到着していません。徳田さんのツアーじゃない人もいっぱい来てたんですね。日本をみんなで応援するのは楽しいんですけど、一方でワールドカップら



しく、いろんな国の人たちと触れ合ったり、時にはユニフォームを交換したりするようなことがここでは起きず、その意味では残念だったなというところです。

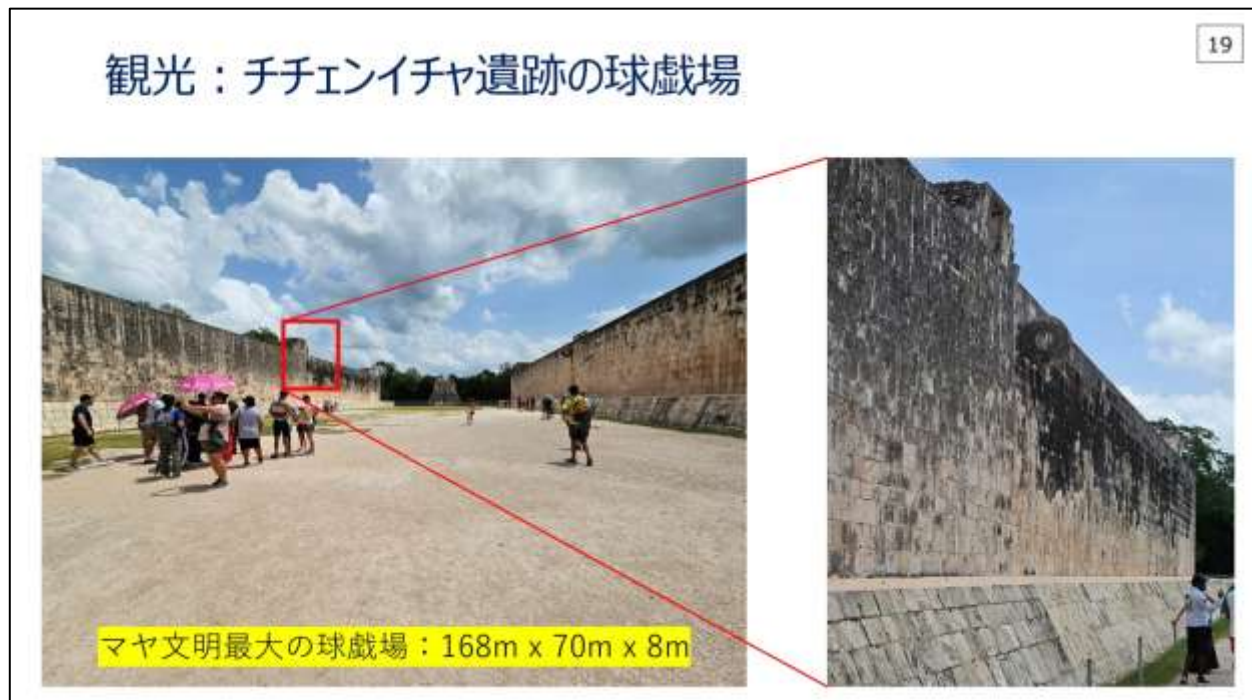
座席ですけど、一番上から見ると、本当に上から真下を見降ろすような感じで、ボールがグラウンダーなのか浮いているのか全然わかんないぐらいですね。もう一つ問題があって、この写真で分かる通り、ボールが近くのタッチライン沿いに来ると全く見えません。ダラス・カウボーイズ、要するにアメフトのスタジアムを使っています。アメフトのピッチって幅が 48m しかないらしいですね。ワールドカップだと 68m。ということで、このスタジアムは少しかさ上げをしたと聞いてます。それでもタッチライン際は見えません。しょうがないので、さっき言った目の前のかいスクリーンを見るんです。結構試合の様子がよく映っています。ボールがタッチライン際から出ても、ずっとモニターを

見ていて、気がついたら俺は何のためにスタジアムに来てスクリーン見てるんだというような状況がよくありました。

徳田：いろんな人がそう言ってました。気づいたらスクリーンを見ていたって。パナソニックのすごい有名な画面ですが、ハイセンスって書かれています。中国のハイセンスに負けちゃってるんです。



オーストラリア vs エジプト戦は、日本人はほとんどいなかったですね。これはバスに乗ったエジプト人と、アメリカに住んでいるエジプト人。AI で生成されたコンテンツって書いてますけど、本当は私とこの写真を撮ってるエジプト人の間にカミさんが写ってたんですけど、写真 NG ということで AI に消してもらいました。カミさんの隣にいたエジプトの可愛い女性と、スタジアムの中で会った日本のユニフォームを着ているけどアメリカに住んでる人だそうです。このパターンは多かったです。



これは先ほど守屋さんの話にもあった、チチェンイツアの球戯場です。マヤ文明で残ってる中で最大だそうです。サッカー場よりもちっと大きいぐらい。壁の高さは 8m ということです。ここにある丸いところが、先ほどの説明にあったゴールです。あの穴の中を通さないといけません。

このパフォーマンスもどこかでやっているとガイドさんが言ってたので、機会があったら見たいなと思ってましたけど、残念ながらやってるところは見つかりませんでした。

私が今回楽しみにしたのは、メキシコとかあの辺の森の中にポツンと池みたいのがあるセノーテと言うところです。地下水が出ている池で、神秘的だと思っていたので前から行きたかったんです。チャンスがあって、セノーテ・オシユマンというところに行って泳いだりしました。面白い体験でした。

次は食べ物です。私は最近のワールドカップでは、日本の対戦相手の飯を食うということをしています。スウェーデン戦の前にスウェーデン料理を食べようと。どこにあるかと言うと IKEA です

ね。ダラスから車で 50~60 ドルかけて行ったところにあり、わざわざそこまで行ってスウェーデン料理を平らげました。さらにクスクスもあったので、次はモロッコ戦だろうと思ってそれも平らげてきました。これを平らげてなかったら、きっとジンクス通り負けてたんじゃないかと思います。

ブラジル戦の前はこれです。カンクンにいましたけど、ブラジル料理を食うべしと言ってシュラスコ屋さんに行きました。さすがにシュラスコを平らげきることはできませんが。

あとはメキシコ料理です。一番うまいのは街角のタコスだと言われたのでそれを食べたり、パンの

観光：セノーテ遊泳

20



チチェンイチャのセノーテ



セノーテ・オシユマン

食べ物：対戦相手を平らげる

21



スウェーデン戦の前に
@ダラスのIKEA

モロッコ戦も見据えて
クスクスも



ブラジル戦の前に
@カンクンのシュラスカリア



食べ物：メキシコ料理

22



街角のTACOS
@メキシコシティ



QUESADILLA
(チーズ入り)
@バレンケ

TORTAS
(90ペソ ¥810円)
@バレンケ



中に挟むのを食べました、これだけ値段の記録が残っていました。結構高いんです。こんな感じの高級とは言えないところでおじさんと子どもが作ってるようなやつが、これだけで 810 円もします。結構高いなど。メキシコって物価が安いんじゃないのと思っていたら意外に高く、どこのレストランに行っても日本円に換算すると何にも食えなくなっちゃうので、途中からメニューとか、ものの値段を見なくなりました。

行く前に聞いてたメキシコ料理では、チョコレートのソースがあると。そんなもの気持ち悪くて食えるかと思ったんですが、頼んでみたらそんなに甘いものではなく、結構美味しかったですね。

サボテンのスープが食べられる店があるというので行ってきました。この中のインゲンみたいに見えるのがサボテンです。サボテンのサラダもありましたね。

守屋(佐)：うちにあるのが、アンパンの砂糖抜きみたいな。豆を煮て、お汁粉なんだけど、全部砂糖抜いた感じのがありますね。

守屋(俊)：サカはマヤの豪族の飲み物。高貴な食べ物だそうです。

守屋(佐)：薬ですよ、ほとんど。

中塚：この料理には、僕らはたどり着かなかった…

守屋(佐)：チョコレート 1 枚だけ買ってきたんですけど、本当に美味しいです。ほぼ甘みはないです。本当に美味しいですね。

野田：笹原さん、この右側のビールは黒ビールですか。

ミチェラーダっていうのが名物だって聞いていて、パレンケ遺跡を半日歩き回った後、遺跡の出口の安レストランで頼んでみたんです。そして「これか？」って冷蔵庫の中で指されたのが普通のビール瓶みたいなやつだったんです。そういう瓶に入っているものを売ってるんだと思いますが、出てきたのはすごい大ジョッキです。赤くて、なんかドロドロした液体が出てきてびっくりしたんですけど。ミチェラーダというのはライムジュースとトマトジュース、あとハマグリスープとか、いろんなものが入ってる原液の名前で、それをビールなどで割って飲むみたいで…。意外にいけるなという感じでした。これあちこちでありました。左のレストランで頼んだ時は、トマトが入っていないライム味でした。これあちこちでありました。左のレストランで頼んだ時は、トマトが入ったライム味でしたけど、意



外にいけるなという感じでした。

野田：さすがですと言いようがないですね。

最後はアメリカで、サンフランシスコの友達にごちそうになったんです。サンフランシスコのイタリア人街に連れていってもらい、チョッピーノという海鮮スープが美味しかったですね。

あと、フォートワースってところが本当にカウボーイがいっぱいいる街な

んです。ちょっとおじさんが写ってますけど、カウボーイハットかぶっています。私はサッカーの試合から直接行ったので日本代表のユニフォームを着ていますが、この街の通りはカウボーイハットの人がいっぱいいます。サッカーの人は2、3人しかいません。カウボーイハットは見るからに新しいので、観光に来てその辺の店で買ったのを被っている人が多かったようです。

このカウボーイハットの後ろに赤と白と青のシャツを着ている人がいて、チリの国旗かなと思ったらテキサスの国旗ですね。とにかく西部劇の雰囲気が濃い街で、そこに入ってTボーンステーキ。写真で見るとそんなにかくないんですけど、バカでかいTボーンステーキをカミさんと二人で食べました。写真は以上です。

4. いくらかったか

最後にいくらかったかという話です。これは2人分です。過去4大会の記録と並べてみました。合計2人で318万円。圧倒的に高いですね。レート之差もありますが、やはりチケット代が、2試合しか見てないのに40万円もしています。それから食事がすげえ高い。この資料を作るためにクレジットカードの記録とキャッシングしたカードの記録を見て、えー、こんなに使ってたの、と思ったぐらいです。途中で値段見るのをやめましたから。

守屋：安上り！

徳田：二人で、ですもんね。

中塚：一人150万ちょっとは安いね。

ちなみに航空券はビジネスクラスです（なに?!）

この時は台北から羽田までとサンフランシスコまでがANA。サンフランシスコからダラスまでがアラスカ航空。ダラスから帰ってくる時はユナイテッドでした。



それと、アメリカとメキシコ間のフライトは、マイレージの無料チケットでした。メキシコの国内線は、守屋さんの話にもあった通り、普通のエコノミー席だと荷物を預けると結構なお金を取られるのですが、どうせ追加料金を払うならと荷物を預けられるプレミアム・エコノミーにしました。合計はそんなに変わらなかったです。

徳田：台北からダラスまでエバー空港で飛んでますよね。

笹原：それは高くは買えなかったです。

かなり頑張って安いチケットを買ったんです、トランプのというかアメリカのイランへの攻撃の後で油値が高くなってきたんです。この週を逃すとまたサーチャージが上がるって言われて、その時一番安いので買った感じですね。

徳田：笹原さん、ストックヤードで牛のパレード見ました？

笹原：見てません。

徳田：見てないですか。フォートワースのカウボーイ村なんです。朝の何時だったか、牛が行進するんです。それを見なきゃいけない。

笹原：試合が1時から3時かな。その試合が延長PK戦になって、その後にフォートワースに行っただけです。だから5時頃に着いて、街をふらっと歩いてから飯食って帰ってきたっていう感じですね。ちなみにセリエのツアーで行った私の大学の同級生はそれに行っていました。

徳田：ダラスとフォートワースって一個の街みたいになってて、ダラス・フォートワース。フォートワースの方にあるメインの観光地はストックヤードしかないんですよ。そこで牛のパレードが一日に2回あるんです。みんなそれに合わせて行く。ただ牛が行進するだけなんですけど。

笹原：あとロデオやってるって言っていましたね。

守屋(俊)：東京でさ、大量の牛のパレード見るか？

守屋(佐)：大丈夫。メキシコ市でね、人のパレード見ましたよね。

中塚：見ましたねー。すごかったですよね。メキシコ vs 韓国の試合の後です。僕らはメキシコ市のど真ん中のソカロでやっていたパブリックビューイング会場でみていたんだけど、そこからゾロゾロと人のパレードが始まり、僕らのホテル前的大通りがすごいことになっていました。俺と小島はホテルに帰ったけど、テレビをつけたら独立記念塔周辺にみんな集まってるところがニュース映像で流れていました。

奥山：それ見たら行かないと。

中塚：オーバー60がそこまでやると、翌日大変なことになるんで…。

守屋(佐)：翌日もあったからね。

笹原：ソカロって言えばね、その辺りに宿を取ったんです。友達の友達の日本人がメキシコにいて、その人が朝飯を食べようって言うてくれたんですけど、直前になって行けなくなりました。なぜならその人の旦那さんから「あのエリアに一人で行っちゃいけない」と言われたそうなんです。私はそんなこと知らなかったので、夜に着いて、カミさんがなんか「お土産をどここの店に買いに行きたい」って言うから、「ちょっと俺疲れたからいいよ、行ってきて」と言って、カミさんは一人で行ったんです。そしたら、夜の帰り道は、大通りのはずなんだけど人が歩いてなくて。ところどころに浮浪者が固まってて、すげえ怖かったって言うてました。その後二人で飯を食いに行って、確かに気持ち悪いなって感じのところでしたね。その話をしたら呆れられました。よく奥さんをそんなところに一人で行かせたねと。

中塚：ありがとうございます。当初ここまでで8時に終える予定だったけど。最初からそれは無理だなと思っていました。ここまでお付き合いいただきありがとうございます。

前回のサロン in 大阪では会場で、今回もオンラインで参加してくださった長野さん、対面会場で初参加、最若手の吉村くん、そして野田さんの紹介で初参加された松本まささんに感想をいただきたいと思います（略）

「暑気払い」が進む中での徳田さん、守屋さん、笹原さんのプレゼンは21:30過ぎまで続いた。

飲み食いしながら、いい気分で「FIFA ワールドカップ2026を語ろう!」を楽しんだ。

WiFi やPC のトラブル続きであったが、奥山さんの大活躍のおかげで乗り切った。

長野さん、吉村さん、松本さんから感想（多数ツッコミあり）をいただき、

中締め、集合写真、解散。

残れる人（6名）は追加で飲み食いしながら23時ごろまで過ごした。

とてもよい夜であった。

